



菊池地域では、合志市、菊池市、大津町、菊陽町の2市2町でゴミ処理を行なう菊池環境保全組合を設立し、施設の運営管理をしています。2月には住民からの可燃ゴミの直接持ち込みも始まる新しいごみ焼却施設の設備や場所について紹介します。

【問い合わせ先】菊池環境保全組合施設課 ☎293-2555

令和2年12月7日撮影

老朽化が進んでいた
ごみ処理施設

菊池環境保全組合で運営していた施設は、ごみ焼却施設の東部清掃工場が平成6年建設、最終処分場も平成10年建設と、ごみ処理施設としては老朽化が進み、最終処分場の残余容量も少なくなっていました。さらに、菊池地域の人口は増加傾向にあることから、これまでごみを処理していた対象人口が増えることが見込まれました。そのような背景の中、今後も適切に処理できるよう、新しいごみ焼却施設「菊池環境工場 クリーンの森合志」が建設されました。

環境にやさしい施設へ

クリーンの森合志は公害防止対策を徹底し、地球温暖化や環境への配慮も行ないながら、ごみを焼



菊池環境保全組合
⑤から
吉田伸二施設課長 藤井勇一参事

却し最終処分する量を減らします。1日当たりのごみ処理量は最大170ト。焼却時に発生する熱を利用し発電も行ない、発電量は年間約2万800MWh、一般家庭が年間に使用する電気量約5800戸分に相当します（平成27年度推計）。今後、小中学校などの環境学習の受け入れも行う予定です。菊池環境保全組合の藤井勇一参事は「工場を見学することで、普段何気なく捨てているゴミについて考えるきっかけにしていもらえれば」と話します。

ちょっとした心掛けが
ゴミの減量につながる

菊池地域での平成30年度の一人一日当たりの可燃ごみ排出量は458g。県全体での排出量と比べると33%多い状況です。同組合の吉田伸二施設課長は「ゴミの量を減らすことで、施設の維持や管理にかかる費用を抑えることができ、個人の負担額の軽減にもつながります。新しい施設の稼働をきっかけにゴミ減量に取り組んでほしいですね」と話します。

一人一人が意識するだけで大きな削減につながります。4月には分別の一部変更もありますので、広報3月号や新たに配布されるごみカレンダーをご確認ください。



12月10日に2市2町の首長や関係者が集まり、施設に初めて点火し操業を開始する火入れ式を行なった



施設全体を管理する中央制御室。ここでゴミの搬入や焼却炉内部、ごみピット内のようすを確認する



空のごみピット内。ゴミが搬入される前の貴重な光景で、黄色の扉からピット内にゴミが投入される



ゴミの搬入時に重さを測る計量器。屋根には太陽光パネルも設置されている

2月1日(月)から

可燃ゴミの搬入場所が変わります

住民からの可燃ゴミの直接持ち込み先が、菊池環境工場クリーンの森合志(幾久富460番地)に変わります。



幾久富460番地 ☎248-0330

■受入時間 (月)～(金) 午前8時30分～午後5時
※正午～午後1時は除く
※(月)が祝や振休の場合も可
(土) 午前8時30分～正午

1月29日(金) 午後4時30分まで

東部清掃工場
(合志市、菊池市泗水地区、大津町、菊陽町)

1月30日(土) 正午まで

エコヴィレッジ旭(泗水地区を除く菊池市)

2月1日(月)から

菊池環境工場
クリーンの森合志

■搬入できるゴミ

- ・燃やすゴミ
- ・可燃性粗大ゴミ
家具類、木、竹片類、
じゅうたん、畳、布団
など

※古紙類やペットボトルなどの資源物は、今まで通り環境美化センター(大津町大津115)に搬入してください

※産業廃棄物は受け入れません

■手数料(施設の計量器が示す重量での徴収)

	重量	料金(税別)
家庭ごみ	50kg未満	無料
	50kg 以降10kgごと	250円 50円加算
粗大ごみ	10kg以下	100円
	以降10kgごと	100円加算
事業系ごみ	10kg以下	200円
	以降10kgごと	200円加算

※端数が10円未満の場合は四捨五入した額
(家庭ごみ50kgの場合 税込280円)

※家庭ごみは指定ごみ袋に入る大きさ